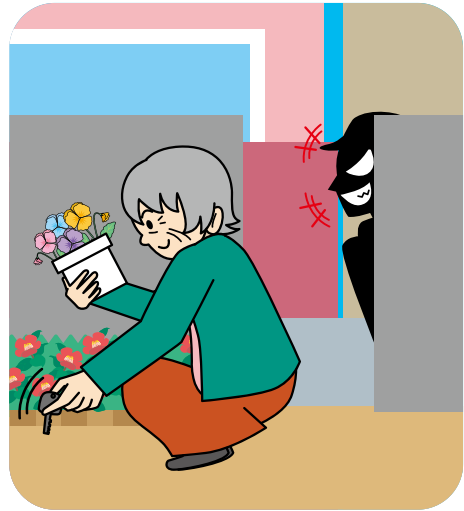


住まいや自分の身を守るために

きちんと戸締りをしていますか…

カギのかかっていない家は 泥棒にとって格好の標的です

- 短時間の外出でも必ずカギをかけましょう。
- 在宅時でも、玄関や人のいない部屋の窓はカギをかけましょう。
- 合カギを郵便受けや植木鉢の下に置かないようにしましょう。



泥棒に狙われない家にするには…

泥棒は人目に付かない場所を好みます

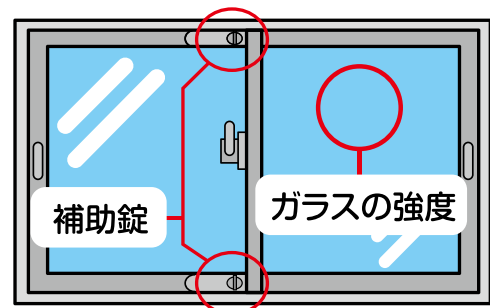
- 庭木は低く、枝を透き、外からの見通しを良くしましょう。
- 防犯灯やセンサーライトを取り付けて、暗がりをつくしましょう。
- 脚立や箱など、2階への足場となるものを置かないようにしましょう。
- 防犯カメラを設置しましょう。



ドアや窓ガラスの対策をしていますか…

泥棒は、玄関のドアをこじ開けたり、 窓ガラスを破ったりして侵入します

- 玄関や窓には、補助錠を付けましょう。
- 窓には、シャッターや雨戸、面格子を取り付けましょう。
- ドアや窓ガラスを防犯性能の高い建物部品（「CPマーク」が添付された商品）に取り替えましょう。



【CPマークとは…】

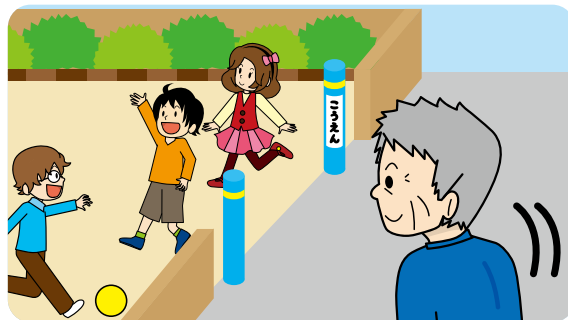
警察庁、国土交通省、建物部品関係団体からなる「防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議」が認定・公表している「防犯性能が高い建物部品」のみに使用が認められるマークです。

みんなで見守る!「プラス防犯」

犯罪の起こりにくい環境づくりをするためには、
より多くの目で「まちを見る」ことが大切です。

普段の生活の中でできる^{プラス}+

- 散歩中^{プラス}に+
- 花の手入れ中^{プラス}に+
- 家の前の清掃中^{プラス}に+
- 買い物の行き帰りの際^{プラス}に+



『プラス防犯』とは・・・地域の方々がふだんの通勤、買い物、犬の散歩などの際に、プラスして不審な人物や車両がないかなどを見ることで、子供や地域の安全を守ろうとする取組です。

プラス防犯の着眼点

犯罪が起こりやすいと言われる、「入りやすい場所」、「見えにくい場所」を注意して見ることで、犯罪の起こりにくい環境づくりにつながります。

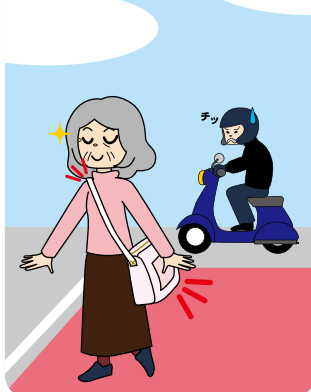
- 公園などの遊び場に異常はないか
- 廃屋、空き家などに異常はないか
- 高い塀が並んでいる道に異常はないか
- 人通りの多い場所に異常はないか

ひったくりからあなたを守る4つのポイント

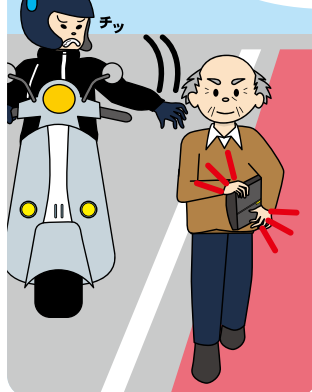


ちょっとしたことでひったくりは防げます!

1 バッグは タスキに かけカエル



2 手荷物は 歩道側にも もちカエル



3 バイクの 音には ふりカエル



4 自転車の カゴには カバーを つけカエル

